

参加費無料
(先着80名)

フォーラム

高野山観光にみる

体験と対話

—インバウンドの発展可能性—

第1部 基調講演

「出会いから始まる、人生の旅」

講師: ジェフ・バーランド(京都外国語大学教授)



第2部 パネルディスカッション

「高野山インバウンドの現状と展望」

日時: 2017年12月9日(土) 15時~18時

場所: ナレッジ・キャピタル カンファレンスルーム タワーC ルーム04
(大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 内)

定員: 80名(先着順)

申し込み: 高野山インバウンド研究会 koyasan.inbound@gmail.com
(氏名、所属、連絡先をご記入ください)

主催: 高野山インバウンド研究会 (JSPS科研費助成事業 基盤研究費(C) 15K01955)

共催: 大阪府立大学 研究推進機構 観光産業戦略研究所

後援: 和歌山県観光局、(一財)和歌山社会経済研究所、(公財)堺都市政策研究所

協力: 高野町、(一社)高野町観光協会、(一社)高野山宿坊協会、高野山恵光院、NPO法人KCCN、
南海電気鉄道(株)

フォーラム趣旨

ユネスコ世界文化遺産でもある高野山に、今、世界中から訪れる外国人観光客が増加している。成長する国際観光は1200年余続いてきた聖地高野山の限られた空間にどのようなインパクトをもたらすのであろうか。

オーバーツーリズムが懸念される近い将来、高野山における外国人観光客の観光体験を中心にスピリチュアル・ツーリズムの体験と対話を通じてインバウンド観光の持続可能性を考える。

パネリストプロフィール



ジェフ・バーグラント

京都外国語大学外国語学部教授(2018年度より国際貢献学部グローバル観光学科長就任予定)

1949年アメリカ合衆国サウスダコタ州生まれ。ミネソタ州カールトン大学在学中に専攻していた宗教学の勉強で日本へ留学。これがきっかけとなり同志社高等学校に就職し22年の教諭生活を送る。その後大手前女子学園教授、帝塚山学院大学教授を経て、現在は京都外国語大学教授として専門の異文化コミュニケーションを指導。

一方、全国で講演を行う他、テレビなどメディアへの出演も多く活動の幅は多岐に渡る。京都在住48年。現在は、江戸時代後期に建てられた町家に暮らす。京都国際観光大使。

著書は、『日本から文化力～異文化コミュニケーションのすすめ～』(現代書館)『受ける日本人繋がる日本人ーいま世界に伝えたい受信力』(出版芸術社)など多数。



竹田 茉耶

一般財団法人和歌山社会経済研究所研究委員

和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程修了、博士(観光学)。(一財)和歌山社会経済研究所では、高野山をはじめ、県内観光地の観光動向、観光政策について調査研究を行う傍ら、和歌山大学観光学部、島根県立大学短期大学部総合文化学科にて観光まちづくりに関する授業を担当。

主たる研究テーマは、観光とコミュニティ、景観まちづくり。



田村 暢啓

高野山恵光院執事長、奥之院ナイトツアー一代表

英国留学経験後、高野山恵光院にて得度。宿坊寺院に勤務する傍ら、「高野山奥之院ナイトツアー」の運営を開始。恵光院執事長の職を経て、(株)AWESOME TOURS(第2種旅行業)を設立。訪日客の9割が欧米豪圏という特異な比率をもつ高野山。数万人の訪日客、国内外旅行者や外国語ガイドの方々と直接日々対話をする中から、最新のインバウンド事情に触れる。

金剛峯寺境内案内人、高野熊野特区通訳案内士、総合旅行業務取扱管理者。



岡本 弥生

一般社団法人 TERA KO-YA (代表)

大手広告代理店にて10年間、中国での営業経験を活かし、2015年の高野山開創1200年を機に「生まれ故郷の高野山にとって良い事をドンドンやっぺいこう」とTERA KO-YA(テラコウヤ)を立ち上げ活動中。前職で鍛えた企画、PR、プロデュース力を活かし、日本国内及び中国語圏での活動を中心に展開中。

趣味は寺社参拝巡りと食べ歩き。RID2640 ローターリー会員。



尾家 建生

大阪府立大学観光産業戦略研究所客員研究員

大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士(経済学)。大学卒業後旅行会社に勤務後、大阪観光大学観光学部教授として観光資源論・旅行業務などを担当。現在、日本フードツーリズム研究会代表、大学非常勤講師、オイシージャパン(株)顧問、大阪商工会議所ツーリズム振興委員、堺都市政策研究所企画委員、東アジア美食・文化・観光フォーラム2018準備委員等を務める。

専門は観光学、フードツーリズム、ガストロノミー。



原 一樹

京都外国語大学外国語学部准教授

東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻哲学専門分野博士課程単位取得満期退学。日本学術振興会特別研究員、埼玉大学教養学部・神戸大学文学部非常勤講師、神戸夙川学院大学観光文化学部准教授等を経て現職。

フランス哲学や社会学理論の研究を基礎に、観光学の理論研究・観光教育・観光調査に携わる。

日本観光研究学会理事・関西支部幹事。NPO法人観光力推進ネットワーク関西・理事。



上村 隆広

大阪府立大学経済学研究科・現代システム科学域教授

京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。大阪女子大学人文社会学部、大阪府立大学総合教育研究機構等を経て、2013年大阪府立大学大学院経済学研究科観光・地域創造専攻/分野の創設に参画。

専門は社会学(社会システム論、学説史)、ツーリズム社会論。